

## 平成29年度 土浦日本大学中等教育学校自己評価票

本校の目指す学校像	<p>土浦日本大学学園建学の精神に基づき自主自立の気風を養い、中等普通教育及び高等普通教育並びに専門教育を一貫して教育することによって世界の平和と人類の福祉に寄与しうる人材の育成をはかり、社会に貢献することを目的とする。目的実現のため次の目標を掲げるものとする。</p> <p>(1) 豊かな語学力を習得し、世界の人々と対話のできる日本人を目指します</p> <p>(2) 自分たちを育てた文化や社会を理解し日本の素晴らしさを世界に発信します</p> <p>(3) 複雑化した現代社会を生き抜くために、教養を磨きさらに得意分野を生かした高度な専門知識を身につけます</p> <p>(4) 読書、絵画、音楽等を通じて芸術や文化を愛し理解する心を磨き、みずみずしい感性を養います</p> <p>(5) さまざまな危機に直面する地球環境をつねに心の片隅において行動のできる人、地球にやさしい人を目指します</p>
-----------	---

本校の特長及び課題	<p>平成29年度学校教育方針『他者を敬う優しい心を有し、自ら考え、自ら行動し、国際社会で活躍できる人材の育成を目指しつつ、学園からいじめを根絶する』ために以下の3点を基本方針に据える。</p> <p>1. 夢を実現する確かな『学力』の育成</p> <p>2. 世界に向かって発信できる『国際力の育成』</p> <p>3. それぞれの分野で、リーダーとして、たくましく活動でき、他者を思いやる優しい心のある『人間力』の育成</p> <p>これらの方針を実現するための実践項目として、次の4点を挙げる。</p> <p>①基本的な生活習慣を全学年、全クラスで確立</p> <p>②他者を敬う優しい心を育む指導の推進（『いじめ』の撲滅）</p> <p>③「学習活動」を軸にした進路指導を強力に展開</p> <p>④日常の教育活動が生徒募集に直結することを念頭に取り組む</p> <p>また、昨年度引き続き日本大学45%前後の進学者とともに、国公立大学15%以上、難関私立大学25%以上、海外進学者10%前後を目指すため、課外を実施していく。</p>
-----------	---

### 平成29年度の実績結果

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
	・年間行事計画の立案と調整	年間行事については、入試関連の行事で高等学校との調整に苦慮したが、実施に対しては互いの協力の下、円滑に行うことができた。英語運用力入試の実施に伴い、昨年以上に土曜日の運	

<p>教育活動 (教務)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割管理</li> <li>・各種帳簿管理</li> <li>・テストの運用</li> <li>・課外の計画運用</li> <li>・教員研修の計画実施</li> <li>・学校評価の実施</li> <li>・学校日誌の作成</li> </ul>		<p>営については、厳しい面もあり今後も検討課題となる。</p> <p>時間割課外授業などの運営においても、学習指導部と一体となり適切な運営を行うことが出来た。</p> <p>転入・転出の処理も含め学年と協力し正確に処理した。</p> <p>昨年度より職員室前ミーティングルームに鍵付の棚を準備し、テストの運用を円滑に行うことができた。</p> <p>課外については、対象学年及び講座数を精選した。</p> <p>教員研修のあり方を検討し、新学力観に応じた対応を検討した。</p> <p>計画通り年4回の学校評価を行った。</p> <p>臨時休校、学級閉鎖等、予定外の事態にも対応できた。</p>	<p>A</p>
<p>学校生活 への配慮 (生徒指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画の作成と実践</li> <li>・日常生活の指導</li> <li>・清掃分担の計画運用</li> <li>・いじめ対策</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画を作成し、全体への周知にいても週報を活用し徹底することができた。</li> <li>・学年団の協力の下、登下校の指導を含め安全に配慮することができた。制服の着こなしについては、後期課程で問題が散見されており、今後も対策を続けていく。</li> <li>・清掃分担において、長期の行事、六学年の自主登校期間なども混乱無く実施できた。</li> <li>・生活実態調査を生徒、保護者にも実施し、その都度、会議を招集することで共有をはかり、いじめの芽の段階から対応することができた。</li> </ul>	<p>A</p>

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
<p>生徒会・ 部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動全般の指導</li> <li>・オープンハウスの計画と実施</li> <li>・スポーツデイの計画と実施</li> <li>・部活動の管理と運営</li> <li>・スポーツ大会の計画と実施</li> <li>・ボランティア活動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会をはじめ放送や図書など、生徒活動が活性化してきている。中でも、生徒会選挙は全ての面で素晴らしい運営をすることができた。</li> <li>・OpenHouse では、各コンテストの決勝など対外的にも本校の教育活動をアピールすることができ、同時に前夜祭・後夜祭で生徒が中心となる活動も活性化した。</li> <li>・SportsDay では、右靱桜グラウンドでの実施が円滑に行えるようになり、保護者会の協力もあり混乱無く実施することができた。</li> <li>・部活動でも運動部だけでなく文化部の活躍があり、中でもロボットエンジニアリング部の大会を本校で開催するなど新たな取り組みができた。</li> <li>・今回から男女ともに新協議を導入し、生徒の自主性を高めるとともに、生徒の満足度の向上を測った。</li> <li>・ボランティア活動では、各学年趣向を凝らし、実施すること</li> </ul>	<p>A</p>

	の計画と実施	ができた。今後は、この活動が継続するような仕掛けが求められる。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路に関する各種調査の実施</li> <li>・進路講演会の実施計画</li> <li>・高大連携の促進活動</li> <li>・進路情報の収集分析と公開</li> <li>・3つの進路実現のための諸活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園の情報処理室と連携し、受験大学及び方式を一元管理し、出願関係資料の作成可否データ処理を行っている</li> <li>・進路講演会では、学年と協力することで、生徒対象や保護者対象で学年の希望に応じ、月1～2回程度実施している。</li> <li>・CPCを7時半から開室し、毎朝20名近い生徒が自学自習を行う環境を作っている。</li> <li>・スタディサプリを導入しICTを活用した指導を展開したが、学年や教科により活用に差が出ている。</li> <li>・3月6日現在国公立7名、最難関私立19名、難関私立26名、海外大学2名であり、海外への進学者の減少が見られる。</li> </ul>	B

保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な健康診断の実施</li> <li>・健康管理への配慮</li> <li>・教育相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健康診断については、前年度の後半から学校の先生方と連絡を密にして計画し学校行事として組み込み実施にいたっている。</li> <li>・健康診断を通じて健康寿命を延ばす活動を進めている。</li> <li>・カウンセラーの利用は限られた時間の中でも連携が取れている。今後も利用していない生徒にも利用してもらえるよう周知していきたい。</li> </ul>	B
図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内の充実</li> <li>・図書館活用率の向上</li> <li>・図書委員活動の活発化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会では、各学年で取り組んでいるブックレビューカードのデータ化が進んでいる。</li> <li>・新書など読書の推進を行っていくため、全校集会でも発信を行っていききたい。</li> <li>・不明図書の増加が問題となっている。</li> </ul>	B
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・700名超の受験者と120名の入学者確保</li> <li>・ホームページ管理</li> <li>・多岐に渡る学習履歴の生徒の選別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺私立の生徒数減少に対して129名を確保した。県南の私学の中では、江戸取、茗溪、土浦中等の3校が中心となる形ができつつある。</li> <li>・LINE@の導入、Web出願など新たな取り組みを実施したが混乱無く実施できた。</li> <li>・茨城型SAT、千葉型SATに続き新学力型入試、英語運用力入試を導入した。本校の入試自体の評判は高く、入学者増につながった。</li> <li>・引き続き水戸地区の入学者減が目立った。</li> </ul>	A

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針の浸透</li> <li>・校務分掌機能の円滑化</li> <li>・教員管理</li> <li>・企画管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針に従い、各分掌に指示を出すことが来た。</li> <li>・両教頭が担当する分掌をまとめ、各分掌に対して問題解決に関わる指導助言を与えた。</li> <li>・教員の業務を評価分析し、次年度の教育活動に生かせるよう指導助言を与えた。</li> <li>・行事に関わる折衝、対外的な対応を含め、予算、人的資源の配置などを行った。</li> </ul>	A

庶務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、環境美化の推進</li> <li>・保護者と教師の会の充実</li> <li>・同窓会組織の運営</li> <li>・各儀式の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室内の会議室、学習スペース、給湯室を中心に美化に努めた。今後は、教員の机上についても工夫をしていく。</li> <li>・保護者と教師の会では、地区会に教員を参加させることで、直接的な言葉だけでなく多くの情報を共有できる素地ができた。</li> <li>・同窓会では、今後の活動の活性化をめざし、定期的な会議を通じて改善を目指している。また、新入生への入学祝としてUSBを配布するなど、本校の活動のバックアップを測った。</li> <li>・入学式、卒業式に対して入念な準備と折衝、及び予行を通じて厳かな中にも本校らしい儀式の運営に成功した。</li> </ul>	A
学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期課程の取り組み</li> <li>・後期課程</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面で、二極化が生じていく時期であり、同時に生徒指導上の問題も出てくるため、対応に苦慮しながらも、おおくの行事で積極性、協働性、表現力を培った。</li> <li>・行事などでリーダーシップを取る生徒は増加している。</li> <li>・学力面で問題を持った生徒に対して、課外の参加などを促してきたが、成績の向上にはつながっていない。</li> </ul>	B

達成状況評価基準	A	取組目標が十分達成された	「よくできている」「できている」割合が90%以上
	B	概ね達成された	「よくできている」「できている」割合が80%以上
	C	課題を多く残している	「よくできている」「できている」割合が70%以上
	D	成果が出ていない	「よくできている」「できている」割合が70%未満